

地上イージス 説明会開催へ

大野政務官、萩市長と面会

大野敬太郎防衛政務官は2日、地上配備型迎撃システム「イージス・アシヨア」配備候補地の山口県萩市の藤道健二市長と防衛省で会い、改めて住民説明会を開く考えを示した。藤道氏が、9月に延期された候補地の地質調査に関する一般競争入札手続き前に開くよう求め、大野氏が応じた。

会談で藤道氏は「住民の不安や懸念が払拭され、理解が得られることが重要だ。住民に寄り添った対応をお願いしたい」と要望。大野氏は「9月の開札前に

説明会を開催したい」と述べた。

◆「立民が衆参で第1会派を」と社民党首 社民党の又市征治党首は2日の記者会見で、通常国会終盤で足並みが乱れた野党の国会対応に関し、野党第1会派が衆院で立憲民主党、参院で国民民主党とねじれているためだと指摘した。こうした事態を回避するため「立民が衆参で第1会派となってリーダーシップを発揮するのは大事なことだ」と述べた。国民の大塚耕平共同代表は会見で反論した。

◆玉木氏、代表選対応9日まで
に表明 国民民主党の玉木雄一郎共同代表は2日、長崎市で記者会見し、党代表選（8月22日告示―9月4日投票）を巡り、立候補予定者を対象に行われる9日の説明会までに自身の対応を表明する考えを示した。党内では玉木氏の立候補は確実視されており、対抗馬が名乗り出るかどうかが焦点だ。